

請願第13号 消費税5%への引き下げを求める意見書提出を求める請願

不採択となりました

意見

消費税10%を5%に引き下げることにより、市内の中小業者、農業者を守る立場から本請願は採択すべきである。少子高齢化が急速に進んでいることから、安定的な財源を確保し、社会保障制度を次世代に引き継ぎ、全世代型に転換することが急務です。現時点においては、消費税率10%から5%に引き下げることが妥当ではないと考えます。

請願第14号 香取の農業を守るため米価2万円を求める意見書提出を求める請願

不採択となりました

ただし、発議案第2号として、米価下落対策に関する意見書を国の関係機関に提出することになりました。

意見

香取市の基幹産業として農地や水田を守っていかなくてはならないが、高齢化が進み、担い手も限界となっており、これ以上、米の価格が下がると、生産をやめる人が多く出てくると推測される。香取の水田農業の非常事態であり、議会や市民、農協などの関係者全員で水田農業の未来を考えていく必要があり、この請願は採択すべきである。

請願第15号 短期人間ドック事業の助成拡大を求める請願

採択しました

意見

早期発見・早期治療に役立てることができる人間ドックは、市民の皆さんに受けやすい環境を維持していくため、また、市民の健康を守るという点からも助成額を上げていただきたく、この請願は採択すべきであると考えます。人間ドックの助成金は、議会としても注視していくべきであると考えます。他方で、受診者の推移や近隣市町の動向を見てから、増額を求めていく必要があると考えます。

請願第16号 学校給食無償化を求める請願

継続審査となりました

学校給食の無償化については、現在、その財源確保が難しい状況であり、学校給食の重要性を踏まえ、調査および検討を行う必要があるため閉会中の継続審査としました。

陳情第23号 水の郷小学校区学童保育(放課後児童クラブ)設置に関する陳情

継続審査となりました

水の郷小学校区における学童保育(放課後児童クラブ)の設置については、令和4年4月に新たに水の郷小学校が開校されることから、陳情の趣旨に鑑み議論を踏まえて結論を出す必要があるため閉会中の継続審査としました。

市民アンケートにご協力をお願いします



香取市議会では、今後の議会活動の資料などとするため市内在住で18歳以上の2,000人の方を無作為で抽出し、市議会に関する市民アンケートを実施することとなりました。調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願いいたします。



小学校「教科担任制」の導入への評価は

質問事項

- ◆学校教育
- ◆がん予防ワクチン

田代 一男

たしろ かずお 議員



小見川中央小学校6年生の授業の様子

問 中教審が今年1月に「教科担任制」を5、6年生から導入すると答申を取りまとめたが、どう評価するのか。

答 小学校高学年から子供たちの抽象的な思考力が高まり、個人によって興味関心が異なることから、学習指導要領の目指す資質・能力を確実に育むため、教科指導の専門性を持った教師によるきめ細やかな指導の充実は、大変効果的であると考えます。

問 「教科担任制」を導入する利点を生かし、課題を克服しながら小学校への「教科担任制」をつくりあげてほしいが、どうか。

答 現在、市内の小学校において、高学年を中心に特定の教科において担任以外の教員が授

業を担当しております。今後は、各学校の実態に応じた指導体制を考えていくとともに国の動向も注視してまいります。

HPVワクチン

積極的勧奨の周知

問 厚生労働省は子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）の積極的勧奨の再開を正式に承認したが、情報提供の方法についてどう周知するのか。周知対象および周知方法について伺う。

答 HPVワクチンの対象者については、小学6年生から高校1年生までとなっていますが、これまで積極的な勧奨が行われていなかったことから、HPVワクチンの供給体制等を踏まえ、国の勧奨例を参考に対象者全員に対し個別通知による周知を図ってまいります。

定期接種対象年齢を過ぎた場合は

問 今後、定期接種対象年齢以外への救済制度が導入された場合の情報提供の方法について周知対象および周知方法について伺う。

答 積極的な勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方への対応については、国において、公費による接種機会の提供等に向けて対象者や期間について議論が開始されました。今後、国の方針に基づき対象者への周知対応をしていきます。